

戦旗

戦旗社

東京都千代田区三軒町2-7-6 滝沢ビル内電話代表03(32)2962 振替 東京1614

28日 第二回全国叛軍連絡会議
一新潟現地
29日 第七回破防法公判—東京地裁
小西叛軍公判闘争
2月4日 全軍労スト支援闘争

1月23日
旬刊
第254号
編集発行人 龍馬 島
一部 40円
購読料別記1,000円(千共)

☆帝國主義国、後進国、「労働者国家」
三ブロック階級闘争を
世界プロ独—世界共産主義の勝利へ！
共産主義者同盟

革命の軍隊・地区共闘建設の全面的推進を

1.18闘争の成果に踏まえ



行動隊を先頭に戦闘的プロを貫徹

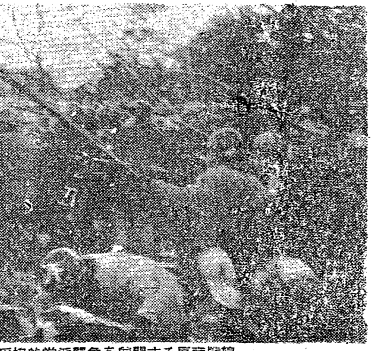
1.18 戦年 決戦 大東 二周 反帝戦線・赤へル 叛軍三五〇

反帝統一戦線の再編を に進める

【本報東京22日電】「1.18」闘争の成果を踏まえ、反帝統一戦線の再編を進める。赤へル叛軍三五〇は、この闘争を通じて、戦年決戦大東二周の反帝戦線・赤へル叛軍三五〇の再編を進める。赤へル叛軍三五〇は、この闘争を通じて、戦年決戦大東二周の反帝戦線・赤へル叛軍三五〇の再編を進める。

沖繩紀元節粉砕闘争に決起し 叛軍闘争の爆発的昂揚を

【本報東京22日電】「1.18」闘争の成果を踏まえ、反帝統一戦線の再編を進める。赤へル叛軍三五〇は、この闘争を通じて、戦年決戦大東二周の反帝戦線・赤へル叛軍三五〇の再編を進める。赤へル叛軍三五〇は、この闘争を通じて、戦年決戦大東二周の反帝戦線・赤へル叛軍三五〇の再編を進める。



反帝闘争の発展闘争を闘争する反帝戦線

【本報東京22日電】「1.18」闘争の成果を踏まえ、反帝統一戦線の再編を進める。赤へル叛軍三五〇は、この闘争を通じて、戦年決戦大東二周の反帝戦線・赤へル叛軍三五〇の再編を進める。赤へル叛軍三五〇は、この闘争を通じて、戦年決戦大東二周の反帝戦線・赤へル叛軍三五〇の再編を進める。

第二回全国叛軍連絡会を開催して

日本反帝戦線

【本報東京22日電】「1.18」闘争の成果を踏まえ、反帝統一戦線の再編を進める。赤へル叛軍三五〇は、この闘争を通じて、戦年決戦大東二周の反帝戦線・赤へル叛軍三五〇の再編を進める。赤へル叛軍三五〇は、この闘争を通じて、戦年決戦大東二周の反帝戦線・赤へル叛軍三五〇の再編を進める。

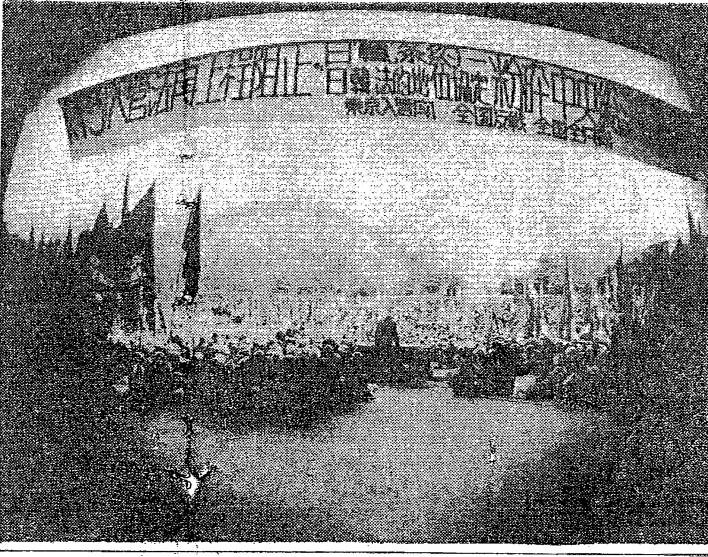
日韓「法的地位協定粉砕

入管闘争に各地で赤ヘル決起

入管を戦略的課題として提起

（東京）

日本共産党は、日韓「法的地位協定」の締結を、日本主権の喪失と見做し、これを粉砕する闘争を各地で展開している。この闘争は、入管闘争と密接な関係を持つ。各地で赤ヘルが、この闘争を戦略的課題として提起し、決起している。



日韓「法的地位協定」の締結を粉砕する闘争を各地で展開している。この闘争は、入管闘争と密接な関係を持つ。各地で赤ヘルが、この闘争を戦略的課題として提起し、決起している。

党派闘争による革命的連帯促す

（群馬）

群馬県共産党は、各地で展開している日韓「法的地位協定」の粉砕闘争を、党派闘争による革命的連帯を促すという方針で進めている。この方針は、各地の赤ヘルに強く影響を与えている。

他党派を領導し 党建設を推進

（新潟）

新潟県共産党は、各地で展開している日韓「法的地位協定」の粉砕闘争を、他党派を領導し、党建設を推進する方針で進めている。この方針は、各地の赤ヘルに強く影響を与えている。

軍力増去を日帝の軍事外交 露刃闘争を日帝の軍事外交 路線全面対決で闘い抜け

（新潟）

新潟県共産党は、各地で展開している日韓「法的地位協定」の粉砕闘争を、露刃闘争を日帝の軍事外交路線全面対決で闘い抜く方針で進めている。この方針は、各地の赤ヘルに強く影響を与えている。

各地の高校生の連帯

1 各地の高校生の連帯

各地の高校生は、日韓「法的地位協定」の粉砕闘争に積極的に参加している。各地で連帯行動が行われ、赤ヘルの指導の下で闘争が展開されている。

2 海城高校を拠点に叛

海城高校を拠点に、各地の高校生が叛旗を揚げ、日韓「法的地位協定」の粉砕闘争を展開している。この闘争は、各地の赤ヘルに強く影響を与えている。

若きボルシェビキ兵士 高校生

若きボルシェビキ兵士として、各地の高校生が日韓「法的地位協定」の粉砕闘争に積極的に参加している。この闘争は、各地の赤ヘルに強く影響を与えている。

反帝戦線集会成功裡に克ちとる

各地で反帝戦線集会が行われ、成功裡に克ちとる。この集会は、各地の赤ヘルに強く影響を与えている。

反帝戦線総決起集会

1. 17 党の革命貫徹と我々の責務の重さを確認

各地で反帝戦線総決起集会が行われ、党の革命貫徹と我々の責務の重さを確認する。この集会は、各地の赤ヘルに強く影響を与えている。

破防五被告を早期審理せよ

共青同弾圧対策委員会

破防五被告を早期審理せよ。共青同弾圧対策委員会が、各地で展開している日韓「法的地位協定」の粉砕闘争を、早期審理を求め、共青同弾圧対策委員会を組織している。

理論戦線

各地で理論戦線が展開されている。この戦線は、各地の赤ヘルに強く影響を与えている。

沖縄の革命的昂揚を受け 首都で総決起

沖縄の革命的昂揚を受け、首都で総決起が行われる。この総決起は、各地の赤ヘルに強く影響を与えている。

危機論型戦略の止揚にむけて—第二部

現代帝国主義分析にむけた方法論上の諸反省

渡海 俊治

現代帝国主義の分析にむけては、方法論上の諸反省が不可欠である。この反省は、単に理論的・概念的な整理にとどまらず、歴史的・社会的な実践の場における理論の位置づけを問うものである。本稿では、現代帝国主義分析の方法論上の諸反省を、第一に「危機論型戦略」の止揚にむけて、第二に「現代帝国主義分析」の方法論上の諸反省として、二つの側面から検討する。

第一章 資本論の方法と原理論の性格

岩田(流通浸透視角)―鈴木(世界市場史観)批判

はじめに

現代帝国主義分析の方法論上の諸反省は、第一に「危機論型戦略」の止揚にむけて、第二に「現代帝国主義分析」の方法論上の諸反省として、二つの側面から検討する。本稿では、現代帝国主義分析の方法論上の諸反省を、第一に「危機論型戦略」の止揚にむけて、第二に「現代帝国主義分析」の方法論上の諸反省として、二つの側面から検討する。

鈴木「原理論」における岩田の批判

鈴木「原理論」における岩田の批判は、現代帝国主義分析の方法論上の諸反省を、第一に「危機論型戦略」の止揚にむけて、第二に「現代帝国主義分析」の方法論上の諸反省として、二つの側面から検討する。

岩田「流通浸透視角」における鈴木の批判

岩田「流通浸透視角」における鈴木の批判は、現代帝国主義分析の方法論上の諸反省を、第一に「危機論型戦略」の止揚にむけて、第二に「現代帝国主義分析」の方法論上の諸反省として、二つの側面から検討する。

宇野「面論」における岩田の批判

宇野「面論」における岩田の批判は、現代帝国主義分析の方法論上の諸反省を、第一に「危機論型戦略」の止揚にむけて、第二に「現代帝国主義分析」の方法論上の諸反省として、二つの側面から検討する。

岩田「流通浸透視角」における宇野の批判

岩田「流通浸透視角」における宇野の批判は、現代帝国主義分析の方法論上の諸反省を、第一に「危機論型戦略」の止揚にむけて、第二に「現代帝国主義分析」の方法論上の諸反省として、二つの側面から検討する。

宇野理論体系化に伴う歴史性把握の難しさ

宇野理論体系化に伴う歴史性把握の難しさは、現代帝国主義分析の方法論上の諸反省を、第一に「危機論型戦略」の止揚にむけて、第二に「現代帝国主義分析」の方法論上の諸反省として、二つの側面から検討する。

岩田「流通浸透視角」における歴史性把握の難しさ

岩田「流通浸透視角」における歴史性把握の難しさは、現代帝国主義分析の方法論上の諸反省を、第一に「危機論型戦略」の止揚にむけて、第二に「現代帝国主義分析」の方法論上の諸反省として、二つの側面から検討する。

右翼合同反対派「空論主義を粉碎し 鉄の全国党建設へ」

「世界プロ独綱領的問題」を見る意味

はじめに

右翼合同反対派は、右翼合同の成立を阻止するべく、鋭い批判を加えている。その中心に立っているのが、空論主義を徹底的に批判し、鉄の全国党建設を主張する勢力である。

彼らは、「世界プロ独綱領の問題」を見ることに大きな意味を置いている。これは単なる綱領の問題ではなく、右翼の根本的な思想と行動の指針を定める重要な問題だからである。

空論主義者たちは、自己弁護の世界に陥り、現実の政治情勢を顧みず、理想論だけで議論を展開している。彼らの主張は、多くが「空論」に過ぎない。鉄の全国党建設は、こうした空論を打ち破るための具体的な道筋を示している。

右翼合同反対派は、この道筋をしっかりと踏まえて、右翼の統一と発展をめざす。彼らの主張は、右翼の長期的な利益と、日本の未来を考えた上で立てられている。空論主義を粉碎し、鉄の全国党建設を進めよう。

右翼合同反対派の「経済主義」的テロリストとしての本質

右翼合同反対派の主張には、明らかに「経済主義」的傾向が見られる。彼らは、政治的な理想よりも、現実的な利益を優先している。この本質を「テロリスト」として批判している。

彼らの行動は、国家や社会の利益を犠牲にして、個人の私利私欲を満たそうとしている。これは、テロリズムの典型的な特徴である。右翼合同反対派のこうした本質を露骨に暴露し、国民の目を覚ましてもらう必要がある。

彼らは、経済的利益の名の下に、右翼の統一を阻害し、日本の政治的発展を遅延させている。この行為は、国家の利益を大きく損なっている。彼らの本質を徹底的に批判し、国民にその危険性を知らせなければならない。

反レーニン主義的デマゴギー集團の右翼空論主義の本質

向田新

反レーニン主義的デマゴギー集團の右翼空論主義の本質を、向田新氏が鋭く指摘している。彼らは、レーニン主義を否定する名目で、空論主義を推進している。

この集團は、レーニン主義の真意を無視し、それを自分たちの私利私欲のための道具として利用している。彼らの主張は、レーニン主義の教義とは全く異なる。これは、レーニン主義を歪曲したデマゴギーである。

彼らは、空論主義を推進し、現実の政治情勢を顧みず、理想論だけで議論を展開している。これは、レーニン主義の「理論と実践を結びつける」という原則を完全に無視している。彼らの本質を徹底的に批判し、国民にその危険性を知らせなければならない。

空論主義者の自己弁護世界プロ独論の観念性

空論主義者は、自己弁護の世界プロ独論を展開している。彼らは、世界プロ独論を正当化するための論拠を、空論に基づいて作り出している。

彼らの論拠は、ほとんどが観念的なものである。現実の政治情勢や国民の意向を顧みず、自己の理想だけで世界プロ独論を正当化している。これは、空論主義者の典型的な特徴である。

彼らは、自己弁護の世界プロ独論を展開し、右翼合同の成立を阻止しようとしている。この行為は、国民の利益を大きく損なっている。彼らの観念性を徹底的に批判し、国民にその危険性を知らせなければならない。

東大闘争弁護団水上弁護士に対する懲戒処分を粉碎せよ

東大闘争弁護団の水上弁護士に対する懲戒処分を、徹底的に批判し、その撤廃を要求している。この処分は、法律の精神を大きく損なっている。

水上弁護士は、東大闘争に関与したにもかかわらず、正当な理由なく懲戒処分を受けた。これは、法律の平等性を損なっている。懲戒処分を撤回し、水上弁護士に対する不当な扱いを正す必要がある。

懲戒処分を撤回し、水上弁護士に対する不当な扱いを正す必要がある。これは、法律の精神を大きく損なっている。懲戒処分を撤回し、水上弁護士に対する不当な扱いを正す必要がある。



写真: 某建物

部活解放集 会行わる

部活解放集の会が、各地で開催される。これは、学生たちの権利を守るための重要な活動である。

部活解放集は、学生たちの苦闘を支援し、彼らの権利を擁護する。これは、学生運動の発展にとって重要な役割を果たしている。各地で開催されるこの活動に、積極的に参加してほしい。

部活解放集の会が、各地で開催される。これは、学生たちの権利を守るための重要な活動である。各地で開催されるこの活動に、積極的に参加してほしい。